

資料5

第3次安城市多文化共生プラン

令和7年度実績報告及び 令和8年度事業計画について



<理念>

ともにつくりだれもが安心して暮らせる
多文化のまち安城

<施策の方針>

1.多様な主体による地域づくり

2.ライフステージに応じた暮らしの支援

3.コミュニケーションの充実

<施策>

多様な主体との協働

多文化共生の意識啓発、相互理解と交流の促進

外国人市民の活躍推進

外国人市民に寄り添った相談体制の構築

安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

子ども・子育ての支援

情報発信体制の構築

日本語教育の推進

国籍を超えたコミュニケーションの促進

<取組数>

5

6

5

6

8

13

5

5

4

施策の方針1.多様な主体による地域づくり

目標

多様な主体が連携して多文化共生を推進する

（目指す姿）

多文化共生を理解する日本人市民が増える

外国人市民が多文化共生の担い手として活躍する

◇成果指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
多文化共生推進団体で活躍する人	160人	240人
日本人市民の多文化共生の理解度	45.1%	60.0%
まちのイベントに参加したことのある外国人市民の割合	51.7%	60.0%



施策の方針2.ライフステージに応じた暮らしの支援

目標

（目指す姿）

日常生活で困っている外国人市民が少なくなる

災害時に自ら行動することができる外国人市民が増える

外国人市民も安心して子育てができる

◇成果指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
日常生活で困っている外国人市民の割合	75.1%	65.0%
災害への準備ができている外国人市民の割合	32.8%	50.0%
日本語指導が必要な生徒の高校等への進学率	84.0%	91.0%



施策の方針3.コミュニケーションの充実

目標

外国人市民が必要な情報を得ることができる

（目指す姿）

日本語を話せる外国人市民が増える

「やさしい日本語」を使う日本人市民が増える

◇成果指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
外国人向けSNS「Anjo-info」の登録者数	Facebook:778人 Instagram:343人	Facebook:1,600人 Instagram:700人
日本語で困ったことがある外国人市民の割合	69.6%	65.0%
日本人市民における「やさしい日本語」の認知度	29.2%	40.0%



施策1-1 多様な主体との協働

No.1-1-3 多文化共生に興味をもつ市民の発掘

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	安城市多文化共生サポーター制度により、SNSなどでサポーター団体の活動を周知する。 【重点的な取組】	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にて、サポーター団体の活動を周知した。	○	—	継続	安城市多文化共生サポーター制度により、SNSなどでサポーター団体の活動を周知する。
	多文化共生に興味をもつ市民を多文化共生団体に取り次ぐ。 【重点的な取組】	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にて団体の活動を周知する機会を拡充し、多文化共生団体への取り次ぎの可能性を高めた。	△	多文化共生団体に取り次げるよう、ウェブサイトやSNSで周知する機会を増やす。	継続	多文化共生に興味をもつ市民を多文化共生団体に取り次ぐ。



No.	団体名
1	特定非営利活動法人多文化共生サポート Adagio
2	あんじょう まざりん
3	「わくわく」子ども日本語の会
4	にほんごひろば
5	NPO法人スマイルリーチ
6	サルビアにほんごの会
7	さくら日本語の会
8	Anjoyともだち
9	ST D' OR

※サポータ団体登録日順

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

施策1-1 多様な主体との協働

No.1-1-5 多文化共生拠点の設置

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	さくら庁舎での試行的な取組を継続するとともに、拠点に必要な機能や設置場所を検討する。 【重点的な取組】	空き施設となる青少年の家を多文化共生拠点として活用する方針を公表することができた。 また、多文化共生懇話会委員と多文化共生サポーター団体に意見を伺い、拠点に必要な機能などを検討した。	○	—	継続	施設の改修内容を設計するとともに、拠点で実施する事業内容等を検討する。



施策1-2 多文化共生の意識啓発、相互理解と交流の促進

No.1-2-5多文化共生推進団体が行う交流機会の創出支援

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体の行う交流イベントを周知する。 【重点的な取組】	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にてサポーター団体の活動を周知した。	○	—	継続	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体の行う交流活動を周知する。
	安城市多文化共生推進活動事業補助金により、多文化共生推進団体が行う交流イベントなどの開催に係る経費を補助する。 【重点的な取組】	3団体の4事業に係る経費を補助した。	○	—	継続	安城市多文化共生推進活動事業補助金により、多文化共生団体の交流イベントなどの開催に係る経費を補助する。



施策1-3 外国人市民の活躍推進

No.1-3-1 活躍のロールモデルとなる外国人市民の紹介

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	SNSなどで、地域で活躍している外国人市民を紹介する。	外国人市民を紹介することはできなかった。	×	サポーター団体などから地域で活躍している外国人市民の情報を収集する。	継続	地域で活躍している外国人市民の情報を収集し、SNSなどで紹介する。
	外国人の先輩OB・OGによるキャリア相談会の開催を検討する。	令和8年1月31日に、外国にルーツを持つ親子向けの進路ガイダンスイベントを開催し、OB・OGによる体験談の共有と質疑応答を実施した。	○	—	継続	外国人の先輩OB・OGによるキャリア相談会を継続して開催する。



概要

★案内チラシ

10/27

対象

外国にルーツをもつ中学1・2年生、小学6年生

内容

- ①日本の学校とお金の話
- ②高校の話
- ③外国にルーツをもつ先輩からの話
- ④高校入学後の話

通訳

ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語・中国語・英語

当日参加者

外国にルーツをもつ親子78名

Anjo
安城市

がいにく るーつ こ ほごしゃ しんろ がいだんす
外国にルーツをもつ子どもと保護者のための進路ガイダンス

ちゅうがくこう ぞつぎょう にほん
中学校を卒業したら、日本ではみんなどうするの？

こうこう い
高校へ行きたいけど、どうしたらいいの？

こうこう
高校ってどんなところ？

かね ひつよう
お金はいくら必要なの？

ちゅうがくこうぞつぎょうこう こうこう
◎中学校卒業後や高校のことについて、いろいろお話しします。
せんぱい だいいけん せん
先輩の体験談も聞けますよ！！

いつ 2026年1月31日(土) 9:30~11:40(受付9:15~)

どこ へきしんギラクスープラザ 3F 大会議室
あんじょうしやくまち
安城市桜町17-11

だれ がいにく るーつ こ ちゅうがく ねんせい せいと しょうがく ねんせい しんろ
外国にルーツを持つ中学1・2年生の生徒、小学6年生の児童、
その保護者(1家族4人まで)

ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、ベトナム語は通訳がいます！！

お申し込みは、こちらから

ポルトガル語	タガログ語	中国語	英語	ベトナム語	日本語
					

定員 100人 100人まで 入れます。

問い合わせ先: 安城市役所 市民生活部市民協働課 ☎0566(71)2218

施策2-1 外国人市民に寄り添った相談体制の構築

No.2-1-3 関係部署・機関と連携した相談対応の実施

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	外国人市民や多文化共生推進団体から寄せられた相談を、必要に応じて関係課へ情報提供する。 【重点的な取組】	外国人市民から相談を受け、内容に応じて担当課や関係機関につないだ。	○	情報共有すべき相談があれば関係課に情報提供を行うようにする。	継続	外国人市民や多文化共生推進団体から寄せられた相談を、必要に応じて関係課や関係機関へ情報提供する。
市民安全課	外国人市民に対し、相談室において、市民相談及び特別相談を実施する。 【重点的な取組】	外国人市民に対し、相談室において、市民相談及び特別相談を実施した。	○	関係部署・機関との連携を重ね、円滑な相談対応に努めます。	継続	外国人市民に対し、相談室において、市民相談及び特別相談を実施する。



施策2-1 外国人市民に寄り添った相談体制の構築

No.2-1-3 関係部署・機関と連携した相談対応の実施

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
社会福祉課	ポルトガル語通訳を配置し、他課でポルトガル語通訳が必要な場合にも応援対応できるようにする。 【重点的な取組】	ポルトガル語通訳を配置し、日本語が理解できなくても支援制度が利用できる体制とした。	○	ポルトガル語しか理解できない相談者にも問題なく支援を実施できている。	継続	ポルトガル語通訳を配置し、日本語が母国語でない方も生活困窮者支援メニューを利用できる体制を維持する。
障害福祉課	障害を理由とする困りごとの相談に応じ、必要な福祉サービスの手続きや支援機関を紹介する。 【重点的な取組】	やさしい日本語を使用し、必要に応じ通訳派遣担当課等との連携や遠隔通訳サービスを利用することで、適切な支援と、サービスの提供を行うことができた。また、関係機関との連携に取り組むことができた。	○	外国人通訳の派遣の条件が限られ、代わりの電話通訳等では意思疎通が困難な場合もある。	継続	障害を理由とする困りごとの相談に応じ、必要な福祉サービスの手続きや支援機関を紹介する。



施策2-1 外国人市民に寄り添った相談体制の構築

No.2-1-3 関係部署・機関と連携した相談対応の実施

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
高齢福祉課	外国人市民含め複合化・複雑化した問題を抱える世帯に対し、ケース会議を行うなど、他部署と連携しながら安城市一丸となって支援体制を構築し、重層的な支援を行っていく。 【重点的な取組】	外国人市民のケースの実績はなかったが、複合化・複雑化した問題を抱える世帯のケースを他部署と連携し支援を行った。	○	必要に応じて対応を行っていく。	継続	外国人市民含め複合化・複雑化した問題を抱える世帯に対し、ケース会議を行うなど、他部署と連携しながら安城市一丸となって支援体制を構築し、重層的な支援を行っていく。
こども課	子育てに悩む保護者に対して、内容に応じて他部署と連携して情報支援や相談を行う。 【重点的な取組】	外国人市民からの相談がなかった。しかし、外国人市民から相談があった場合に電話通訳システムが使えるように対応した。	○	件数がない及び少ないため、日本語が話せない方から連絡が来てもすぐに対応ができるように、電話通訳システムの利用方法を再度確認する。	継続	外国人市民からの相談が来ても対応ができるように、継続して電話通訳システムを使用する。



通訳対応窓口	通訳手段	対応言語
○市役所、各施設、保育園	電話通訳	ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、中国語、英語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、ネパール語、タイ語、ロシア語
○市役所、保健センター、あんステップ	テレビ電話通訳	
○市民課 （外国人相談窓口）	通訳職員4名	ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、中国語
○社会福祉課	通訳職員1名	ポルトガル語
○国保年金課	通訳職員1名	ポルトガル語



施策2-2 安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

No.2-2-4 避難所における外国人市民への対応の円滑化

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	避難所特命者などを対象とした外国人市民への対応に関する研修の実施を検討する。 【重点的な取組】	令和7年5月29日開催の避難所関係者説明会にて、災害時の外国人対応について周知した。	○	—	継続	避難所特命者などを対象とした研修で災害時の外国人市民への対応について周知する。
危機管理課	生活ガイドブックにて、地域の防災訓練の意義について外国人市民に周知する。 【重点的な取組】	生活ガイドブックにて、地域の防災訓練の意義について、外国人市民に周知した。	○	—	継続	生活ガイドブックにて、地域の防災訓練の意義について、外国人市民に周知する。



施策2-2 安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

No.2-2-5 日常生活のルールなどに関する情報の提供

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民安全課	Anjo-infoに自転車の乗り方などに関する情報を掲載する。	Anjo-infoに自転車の乗り方などに関する情報を掲載した。	○	毎年掲載内容の見直しを行う。	継続	Anjo-infoに自転車の乗り方などに関する情報を掲載する。
	自転車安全運転指導にて外国人にもわかりやすい文言のサイン板を持って立哨する。	外国人の交通マナーに関し懸念する声があり、一時的な立哨よりも効果が期待できる外国語表記の立看板を設置した立哨については、引き続き検討していく。	△	効果的な啓発方法を検討する。	見直し	外国語表記の立看板を設置する等、わかりやすい文言で各種啓発を行う。



施策2-2 安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

No.2-2-8 あいち医療通訳システムの周知

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	SNSなどで周知する。	周知が実施できなかった。	×	SNSによる情報発信のスケジュール管理を適切に行うとともに、啓発チラシ等を活用した投稿を作成する。	継続	SNSなどで周知する。
国保年金課	窓口にてチラシを配置する。	窓口にてチラシを掲示して周知した。	○	—	継続	引き続き周知に努める。
健康推進課	医療機関に周知する。	あいち医療通訳システムの周知を図るために市内の医療機関に対し案内チラシを送付した。(R8.7「市内の医療機関一覧表」に同封)	○	—	継続	医療機関に周知する。



施策2-3 子ども・子育ての支援

No.2-3-5 家庭における母国文化や母語に触れる機会の支援

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	多文化子育てサロンにおいて、母語の大切さを伝える。	多文化子育てサロンの中で、外国語で書かれた絵本を用意し、母語に触れる機会を設けた。	△	母語に触れる機会の提供に留まり、母語の大切さを参加者に十分伝えられなかった。具体的に説明する時間を取り入れていきたい。	継続	多文化子育てサロンにおいて、母語の大切さを伝える。
アンフォーレ課	外国語で書かれた資料や、日本語学習用資料の積極的な収集・提供	外国語資料の蔵書数(累計)6,636冊 (目標値 7,000冊(R11年度末時点)図書館運営基本計画【改訂版】より)	○	R11年度末の目標値に順調に推移している。	継続	外国語で書かれた資料や、日本語学習用資料の積極的な収集・提供
	多言語おはなし会の実施	多言語おはなし会を3回実施し、のべ75人の参加があった	○	引き続き多言語に触れる機会を設けていく。	継続	多言語おはなし会の実施



施策2-3 子ども・子育ての支援

No.2-3-11 日本語指導が必要な児童生徒の支援における多文化共生推進団体との連携促進

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	安城市多文化共生サポーター制度によるサポーター団体との意見交換を行うとともに、サポーター団体と連携した活動の周知やイベントの開催などについて検討する。	令和8年1月28日にサポーター団体との意見交換会を開催し、活動の周知方法等について議論したが、連携イベントについては協議することはできなかった。	△	サポーター団体意見交換会等の際に、連携イベントについて協議する場を設ける。	継続	安城市多文化共生サポーター制度によるサポーター団体との意見交換を行うとともに、サポーター団体と連携した活動の周知やイベントの開催などについて検討する。
学校教育課	他課からの依頼があれば積極的に取り組む。	NPO法人ぐらっとほーむの依頼を受け、日本語指導が必要な児童生徒の支援を行った	○	—	継続	他課からの依頼があれば積極的に取り組む。



施策2-3 子ども・子育ての支援

No.2-3-12 日本語指導が必要な児童生徒及び保護者に対する、キャリア形成や教育制度理解の促進

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	SNSなどで、愛知県が作成した「外国につながる子どもたちの進路開拓・進路応援ガイドブック」などを活用した周知を行う。 【重点的な取組】	SNSで若者・外国人未来塾や夜間中学の情報を周知した。	○	—	継続	SNSなどで、キャリア形成や教育制度理解の促進につながる情報の周知を行う。
	外国人の先輩OB・OGとのキャリア相談会の開催を検討する。 【重点的な取組】	令和8年1月31日に、外国にルーツを持つ親子向けの進路ガイダンスイベントを開催し、OB・OGによる体験談の共有と質疑応答を実施した。	○	—	継続	外国人の先輩OB・OGとのキャリア相談会を継続して開催する。
学校教育課	必要な学校については、懇談会や入学説明会、高校入試説明会等に通訳を派遣する。 【重点的な取組】	必要な学校については、懇談会や入学説明会、高校入試説明会等に通訳を派遣した。また、令和8年1月31日に「外国にルーツをもつ子どもと保護者のための進路ガイダンス」を実施した。	○	「進路ガイダンス」には親子合わせて70名ほどが参加をし、アンケート結果からも大変有意義な会となったことがわかった。	継続	必要な学校については、懇談会や入学説明会、高校入試説明会等に通訳を派遣する。また、「外国にルーツをもつ子どもと保護者のための進路ガイダンス」を実施する。



施策3-1 情報発信体制の構築

No.3-1-1 SNSなどを活用した情報発信

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	facebookとInstagramで様々な情報を発信する。 【重点的な取組】	日本語教室やイベントの案内、防災に関する情報などについて、毎月平均4件ほどの投稿を行った。	○	—	継続	facebookとInstagramで様々な情報を発信する。
	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体や外国人コミュニティなどと連携した情報発信方法を検討する。 【重点的な取組】	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にて、サポーター団体の活動を周知した。	○	—	継続	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体や外国人コミュニティなどと連携した情報発信方法を検討する。



■ SNSでのPR

★イベントチラシ★

(データ or 紙)

日本語教室
プレスクール
文化体験会
カフェ会
など



市に提供



投稿



投稿



掲載文は『やさしい日本語』を使用



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

■ 市公式ウェブサイトでのPR

★団体の情報★

- ・登録No
- ・登録日
- ・団体名
- ・団体の活動内容がわかる画像やイメージ画像
- ・団体プロフィール文
- ・団体HPのURL

レイアウト

市公式ウェブサイト「望遠鏡」

<https://www.city.anjo.aichi.jp>

登録No	1
登録日	令和7年5月1日
団体名	〇〇〇〇〇【画像】
活動概要	*****
HP	https://www + + + + + + + +

登録No	2
登録日	令和7年6月1日
団体名	□□□□□【画像】
活動概要	*****
HP	https://www + + + + + + + +

団体の情報を1ページで紹介



施策3-1 情報発信体制の構築

No.3-1-5 多文化共生推進団体、外国人コミュニティと連携した情報の発信

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体と連携した情報発信を行う。	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にて、サポーター団体の活動を周知した。	○	—	継続	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体と連携した情報発信を行う。
	外国人コミュニティをとおりした情報発信方法に向けて、サポーター団体を募集するとともに、外国人コミュニティとのパイプ作りの手法を検討する。	サポーター団体の募集はできたが、外国人コミュニティとのパイプ作りの手法について検討することはできなかった。	△	サポーター団体とともに、手法について検討する場を設けられるよう調整する。	継続	情報発信に向けて、外国人コミュニティとのパイプ作りの手法を検討する。



施策3-2 日本語教育の推進

No.3-2-1大人日本語教室の開催・運営支援

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体が行う日本語教室を周知する。 【重点的な取組】	市公式ウェブサイト及び市公式SNS「Anjo-info」にて、サポーター団体が行う日本語教室の概要を周知した。	○	—	継続	安城市多文化共生サポーター制度により、サポーター団体が行う日本語教室を周知する。
	安城市多文化共生推進活動事業補助金により、多文化共生団体の行う日本語教室の運営に係る経費を補助する。 【重点的な取組】	大人向け日本語教室については申請がなかった。	△	補助制度について改めてサポーター団体に周知し、申請に繋げたい。	継続	安城市多文化共生推進活動事業補助金により、多文化共生団体の行う日本語教室の運営に係る経費を補助する。



施策3-2 日本語教育の推進

No.3-2-1大人日本語教室の開催・運営支援

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	拠点化に向けた試行的な取組として、さくら庁舎の会議室にて大人日本語教室が実施できるようにする。 【重点的な取組】	さくら庁舎の会議室にて大人日本語教室を実施できるようにした。	○	—	継続	引き続き、さくら庁舎の会議室にて大人日本語教室が実施できるようにする。
	安城市国際交流協会への補助をとおして、大人日本語教室を実施する。 【重点的な取組】	安城市国際交流協会への補助をとおして、大人日本語教室を実施した。	○	—	継続	安城市国際交流協会への補助をとおして、大人日本語教室を実施する。



施策3-3 国籍を超えたコミュニケーションの促進

No.3-3-1「やさしい日本語」の周知

主な担当課	令和7年度				令和8年度	
	事業計画 (P)	事業実績 (D)	事業評価 (C)	進捗状況 改善点など (A)	事業の 方向性	事業計画 (P)
市民協働課	職員向け「多文化共生・やさしい日本語」研修やまちかど講座で周知するとともに、SNSなどでも周知する。 【重点的な取組】	令和7年12月17日に、職員向け「多文化共生・やさしい日本語」研修を実施し、「やさしい日本語」を周知した。 市民交流センターのパネル展示や七夕まつりのブースにて、「やさしい日本語」の周知を行った。	○	—	継続	職員向け「多文化共生・やさしい日本語」研修やまちかど講座で周知するとともに、SNSなどでも周知する。

